



		免疫チェックポイント阻害薬 副作用対応連携シート			
副作用	主な自覚症状	検査項目	ペーシング (投与開始時)	モニタリングの目安	専門医へのコンサルトのタイミング
			〇実施		
間質性肺炎	発熱、空咳、息苦しい、息切れ	胸部X線	○	投与時	左記の <b>自覚症状発現</b> の場合、左記 <b>検査項目の異常</b> が認められた場合には、直ちに相談ください。
		胸部CT	○	疑い時	
		KL-6 SP-D	○	2か月毎に2回	
		TSH・FT3・FT4	○	月1回	
内分泌障害	甲狀腺機能低下症：身体がだるい、体重増加、徐脈、便秘、食欲低下など 甲狀腺機能亢進症：汗をかきやす、体重が減る、甲狀腺のはれ、胸がドキドキする、手の震え、不眠、発熱、下痢、振戦、食欲低下 副腎機能不全：身体がだるい、意識がもうせれる、考えがまとまらない、嘔吐、むかむかする、食欲不振、低血圧、脱力感 副甲狀腺機能低下症：手足の筋肉の痙攣、手足口の周りのしびれ	抗チロトロピン抗体 抗TPO抗体 TSHレセプター抗体 pTTH	○	疑い時	【甲狀腺】 発熱出現（倦怠感や動悸など）、TSH・FT3・FT4に異常が認められた際、TSHレセプター抗体、抗チロトロピン抗体、抗TPO抗体を1回測定し、 <b>自己抗体陽性で症状発現時はコンサルト</b> 【副腎】 ACTH・コルチゾールを測定した際、 <b>コルチゾール低値の場合にコンサルト</b>
		ACTH コルチゾール	○	月1回	
		排便回数 腹部CT 大腸内視鏡検査	○	投与時	
		CPK	○	投与時	
大腸炎 重度の下痢	下痢（軟便）もしくは通常よりも頻回の排便、血便もしくは黒クタル便で粘着質の便、重度の腹部痛もしくは圧痛	排便回数 腹部CT 大腸内視鏡検査	○	疑い時	Grade2以上の下痢、排便回数の増加が認められた場合（ペーシングと比べ4～6回/日以上の排便回数増加） 腹痛・下血・便失禁・発熱に特に注意
重症筋無力症 筋炎	重症筋無力症：上まぶたが下がる、物がだぶつて見える、飲み込みにくい、しゃべりにくい、呼吸困難 筋炎：身体に力が入らない、発熱、飲み込みにくい、息苦しい、発疹、筋肉の痛み	AChR抗体 HBAlc グリコアルブミン 血糖 検尿（尿カトニク） Cペプチド	- ○ ○ ○ -	疑い時 疑い時 疑い時 疑い時	
1型糖尿病	糖尿病：身体がだるい、体重減少、のどの渇き、水を多く飲む、尿の量が増える 糖尿病性ケトアシドーシス：意識の低下、悪心、嘔吐、腹痛	AST ALT γ-GTP ALP T-Bil D-Bil LDH HbS抗体・HbC抗体 HCV抗体	○ ○ ○ ○	投与時 投与時 感染歴がある方は3か月毎にDNA量を測定	Grade2以上の皮膚障害
皮膚障害	湿疹、かゆみ	AST ALT γ-GTP ALP T-Bil D-Bil LDH	○ ○ ○	投与時 投与時 投与時	
肝障害	倦怠感、黄疸、嘔吐・嘔気、食欲不振、そら草感	PT APTT フィブリノーゲン 心筋トロポニンT NTproBNP Dダイマー FDP 心エコー 心電図	○ ○ ○ ○ ○	投与時 疑い時	左記の <b>自覚症状</b> の発現、又はGrade2以上の肝機能障害が認められた場合にコンサルト 左記の <b>自覚症状</b> の発現、又は検査値の異常時にコンサルト
心血管障害	心不全、心筋炎、心房細動、胸部静脈血栓	心エコー 心電図	○	投与時	左記の <b>自覚症状</b> が発現した場合にコンサルト
眼障害	充血、霧視、羞明、眼痛	Na K Cl Ca P TP ALB UA AMY BUN Cr 血球算定 (CBC) バテカルサイン	○	投与時	左記の <b>自覚症状</b> が発現した場合にコンサルト
その他			○	投与時	

※検査オーダーは検査センター、統合センターで作成いたしますので、そちらより使用してください

死亡例が報告されています。早急に専門医へのコンサルトをお願いします